

初めてフライトされる方へ

1. ご使用上の注意

Innovatorは本格的なラジコンヘリコプターであり、玩具ではありません。

Innovatorは使用目的に合わせ、モデルごとに考える最大の安全性が考慮されています。しかし本格的なラジコンヘリコプターとしての基本性能を得るため、とても大きなパワーと高度な飛行性能を持ち、設定や飛行方法によってはメインローターの先端速度は時速400kmを越し、飛行速度も時速150 kmに達します。

ご使用方法によってはとても大きな危険を伴いますのでInnovatorの機能、飛行方法など十分にご理解のうえ、正しく安全にルールを守ってご使用ください。

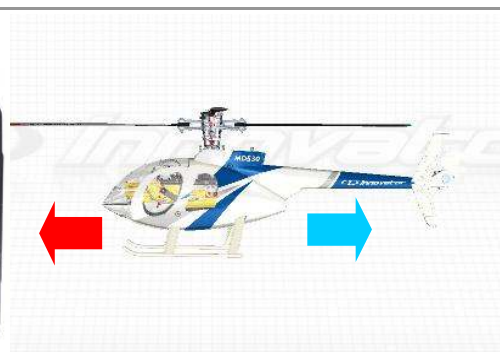
ラジコン模型の運用は基本的にすべてが自己責任です。間違った使用方法やルールを守らずご使用になったことによる損害や損傷に対し、メーカーおよび販売店は一切の責務を負いません。

2. コントロールの基本

エレベーター：

左スティックの上下を「エレベーター」といいます。

上方向に動かすと機体が前傾し、前進します（ダウン方向・赤矢印）。
下方向に動かすと機体が後傾し、後退します（アップ方向・青矢印）。

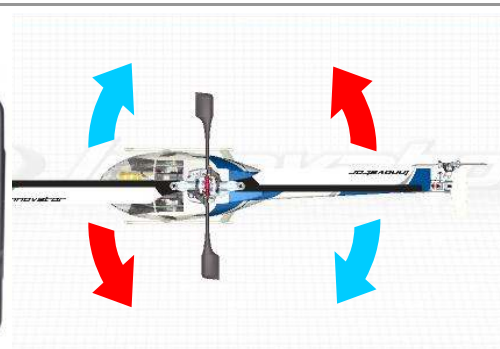


ラダー：

左スティックの左右を「ラダー」といいます。

右方向（青矢印）にスティックを動かすとテールが左に動き、機首が右向きになります。

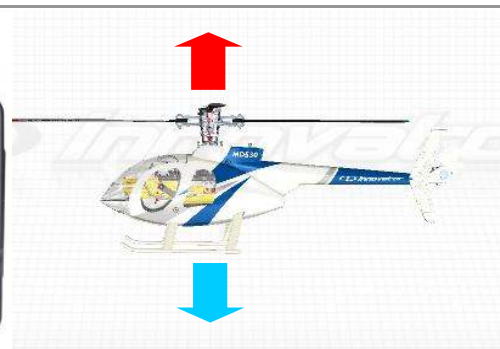
左方向（赤矢印）にスティックを動かすとテールが右に動き、機首が左向きになります。



スロットル（ピッチ）：

右スティックの上下をスロットル（ピッチ）といいます。

機体を上昇させる場合はスロットルを上方向（赤矢印）に動かします。
機体を下降させる場合はスロットルを下方向（青矢印）に動かします。

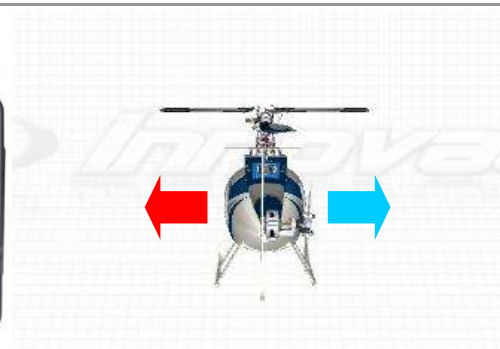


エルロン：

右スティックの左右を「エルロン」といいます。

機体を右方向に動かしたい場合はエルロンを右方向（青矢印）に動かします。

機体を左方向に動かしたい場合はエルロンを左方向（赤矢印）に動かします。



3. 基本的な飛行練習

操作位置

●ヘリコプターを風上に向け、3～5mくらい後ろに立ちます。ヘリコプターはテールを向けています。

初めてヘリコプターをフライトさせる場合、トレーナーギヤ {Parts No.1079IN} の使用をお勧めします。

MD530にトレーナーギヤを使用する際は送信機右肩のフライトモードスイッチを1（手前）にしてください。

ホバリングしているときのトリム調整は最初は少し前進（エレベータートリムをやや上にする）するぐらいが良いでしょう。

トレーナーギヤ：



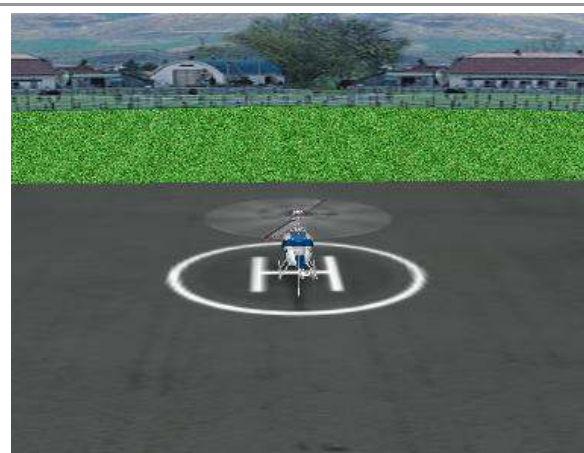
離陸

●スロットルをわずかに上げメインローター回転数の上昇を待ちます。メインローター回転数が一定になったら少しずつスロットルスティックを上げていきます。

●離陸直前になるとヘリコプターが左へ動き始めますのでエルロンを少し右に操作します。（ヘリコプターの特性です。）

●左側のスキッド（トレーナーギヤ）が地面から1センチ程度離れ、右側のスキッドが地面に着いている状態で少し早くスロットルスティックを上げると垂直に離陸します。

垂直に離陸ができないとその後の操作が難しくなりますので、垂直に離陸できるように繰り返し練習してください。



ホバリング

●浮いている間、前後左右に動かないよう操縦を試みてください。ヘリコプターは、テールローターの推力のため、常に少し右に傾むいた姿勢になります。

●例えば機体が左に流れた場合はエルロンを右に操作し、流れが止まったときにエルロンを左に操作する（「あて舵」といいます。）ことが必要になります。あて舵操作はヘリコプター操作の基本ですので練習を行ってください。

●最初は高度を10cm程度にし、直ぐに着陸できる高度にしてください。

●地面に近すぎるとヘリコプターは滑るように前後左右に動きやすくなりますので、慣れてきたら膝の高さ（50cm）くらいにすると安定し易くなります。



着陸

●なるべく水平に着陸させてください。

斜めに着陸させると機体が横転したり、メインローターがテールブームに当たるおそれがあります。

●姿勢が不安定になった場合やヘリコプターが5m以上離れたり、横を向いたら直ちにゆっくりとスロットルを下げて着陸させてください。

